

特集

ネットワークが地域を支える

「多職種」「情報の共有」「顔の見える連携」……。さまざまなキーワードを携える「ネットワーク」という言葉。現在全国各地で、人と人を結び、地域を支えるネットワークがめざましく稼働しています。創設メンバーはどう考え、動いてきたのか。そして、この1年間、医療福祉の現場はどんな問題を情報交換し、解決に向けて動いたのかを特集します。

地域連携ネットワーク型在宅医療システムをつくりあげるために

——在宅医療の3“ワーク”を通して 中野一司

「長崎在宅 Dr. ネット」というネットワークづくり

——メーリングリストの導入と活用 詫摩和彦

京都乙訓地域での多職種ネットワークの実践

——乙訓在宅療養手帳委員会の活動から 梅山信

■シリーズ「クオリティの向上を！——訪問看護の充実をめざして」

新人教育システムと管理者教育システムの支援と整備 角田直枝／山田雅子／木下由美子／古橋聡子

■特別記事

座談会●2008年の医療福祉をふり返る 栃本一三郎／浅川澄一／松本武敏／萩原正子

複数医師による在宅医療の実践——3年間で見てきたもの 船木良真

マグネットステーションの核にあるもの——1年間のインタビューをふり返って 木村憲洋

■連載

マグネットステーションインタビュー 木村憲洋／訪問看護時時刻々 石田昌宏／わたしのことをわたしから 富士雄大／高齢者虐待にどう対応するか 和田忠志／ヒト・モノ・バをつなぐ認知症ケア 山崎正人／ほんとの出会い 岡田真紀／100歳までの道のり 城美奈子／訪問看護の現場にあるく 川越博美ほか／自宅で死んでみませんか 皆川夏樹

編集後記

●特集では、口腔ケア、リンパ浮腫、リハビリテーションと異なる視点から、ターミナル期における QOL の維持・向上に役立つ知識をご執筆いただきました。制作の途中、ある方から「訪問看護の世界が本当の医療の原点だと思ふようになりました」という主旨のお言葉をいただき、嬉しく思う今日この頃です。なお、今年も「萌黄色のハンカチーフ」刊行記念プレゼントを行なっておりますので、どうぞご応募ください。……………富岡
●昨年6月まで本誌連載の「事例で考える医療福祉倫理」から『ケースで学ぶ医療福祉の倫理』というタイトルの単行本が生まれました。訪問看護や介護の現場で起こるさまざまな問題、解決の糸口を見出せず、倫理的葛藤に悩む14ケースを取り上げ、その解決のためにどう考えればよいのか、連載をもとにさらに深くディスカッションし、まとめられた一冊です。書店や学会場で、手にとっていただけたらと願っています。……………伊藤

訪問看護と介護 第13巻 第11号（通巻149号） 2008年11月15日発行（毎月1回15日発行）

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2008, Printed in Japan
1部定価1,260円（本体1,200円＋税5%） 年ぎめ予約購読料13,200円（年間12冊，消費税，送料弊社負担）

発行：株式会社 医学書院／代表者：金原 優／販売部：03-3817-5659／社内案内：03-3817-5600

「訪問看護と介護」編集室：直通03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当：富岡・伊藤・早田

Eメール houmon@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページURL <http://www.igaku-shoin.co.jp>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

〔JCLS〕＜（株）日本著作出版権管理システム委託出版物＞

本紙の無断複写は著作権法上での例外を除き禁止されています。複写される場合は、そのつど事前に（株）日本著作出版権管理システム（電話03-3817-5670、FAX03-3815-8199）の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「0917-1355/05/¥250/論文/JCLS」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCLSへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。